

「原爆と人間展」開催 第30回記念

日本原水爆被爆者団体協議会結成 70 年

核兵器も戦争もない世界の人間社会を求めて！



「原爆孤児」広島 雪を食べる子どもたち 撮影：佐々木雄一郎

*と き 2026 年

8 月 4 日 (火) ~ 9 日 (日)

午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時 (9 日は午後 4 時まで)

ところ **大宮図書館** 展示スペース・研修室

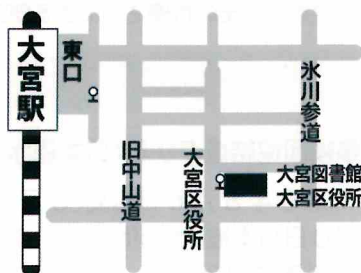
(大宮駅東口から徒歩 15 分、東武バス大 43・大都 23 バス停「大宮区役所」下車すぐ)

● 展示・イベントの内容・出演者は予告なく変更になる場合がございます。満員になりましたらはいれません。

30回

原爆と
人間展

書・森谷 明仙



入場無料

***展示スペース** 9 時半 ~ 午後 5 時
最終日は ~ 午後 4 時

- 被団協結成 70 年 (日本原水爆被害者団体協議会) のあゆみ
- 第 11 回核不拡散条約 (NPT) 再検討会議
- 核兵器禁止条約について

◎ 「ドンが聞こえなかった人々」 長崎の被爆ろうあ者のパネル展



- 広島の高校生が描いた「原爆の絵」
- 戦時中の物品 ● 原爆と人間パネル
- 大宮の核施設撤去の市民運動の歴史

***研修室 A・B** 入場は開演 30 分前から
定員 48 人 早めにお越しください

3 日 (月)

企画 ① 13 時半 ~ 13 時からお並びください (13 時 15 分開場)
アニメ「はだしのゲン」「はだしのゲン 2」

4 日 (火)

A 室 ① 11 時 ② 13 時半 ③ 15 時 (15 分前に開場)

* 人形劇グループさくらんぼの会 *
紙芝居と読み聞かせ、人形劇も

9 時半開場 10 時上演

被爆体験を語る **佐伯 博行さん**
広島で 2 歳のとき被爆

5 日 (水)

9 日 (日)

13 時半開場 14 時上演 **ロコ企画・語り**
~ 愛と平和を語り継ぐところにふれるお話 ~

主催・問い合わせ: 「原爆と人間展」実行委員会 Tel 048-653-5059 (佐藤) 090-1701-5079 (齊藤)

後援: さいたま市、さいたま市教育委員会、埼玉県原爆被害者協議会

* ご挨拶 *

1997年から開催してきた「原爆と人間展」も、今年で30回目を迎えます。核戦争反対、核兵器をなくそうと願い、未来を担う子どもたちに伝えようと続けて来ましたが、核兵器も戦争もない平和な世界にむけ、歩みを強めたいと思います。

今年も市民のみなさんと一緒に核兵器の恐ろしさと命の尊さを学びたいと思います。

多くの皆様の「原爆と人間展」へのご来場をお待ちしています。

原爆と人間展実行委員会

* 第一回から参加の思い出 30周年に寄せて *

30年前に原水爆禁止大宮協議会の望月武さんから原爆展をやりませんかと声がかかり、毎月大宮駅東口で6と9の日に核兵器反対の宣伝行動を行っていたメンバーで実行委員会をつくりました。氷川参道にあった元大宮図書館展示室と地下の視聴覚室を一週間借り切る事ができました。教育委員会の後援をもらってチラシも小中高(大宮市立)に配布してもらえて、チラシを全クラスごとに分ける作業は大変でしたが効果は大きかったですね。展示のみでなく、視聴覚室での内容も豊かなものにしようと努力しました。映画「はだしのゲン」を上映。被爆者の体験談、東京芸術座の俳優さんによる朗読劇は必ず企画しました。

「はだしのゲン」は好評でした。原爆がどんなに悲惨な武器であるか、核と人間は共存できない事が子どもたちにも心にしみ入ったと思います。いつも沢山の素晴らしい感想文が寄せられていました。何年も重ねても初めて見たとの感想があり、毎年やることの意義を強く感じて続けてきました。

一昨年の、被団協がノーベル平和賞を受賞した事も運動にはずみと関心が高まりました。今、軍備拡大がどんどん進み平和が脅かされています。草の根の運動を燎原の火のように広げて平和と憲法をしっかり抱きしめて守っていきましょう。

元原爆と人間展実行委員会副実行委員長 佐藤 圭子

展示スペース

●被団協結成70年(日本原水爆被害団体協議会)のあゆみ

1945年8月6日広島、8月9日長崎に原爆が投下、1956年8月10日日本被団協が結成されてからノーベル平和賞受賞までのあゆみを年表で紹介。

●第11回核不拡散条約(NPT)再検討会議

今年4月27日から5月22日までニューヨークの国連本部で開催されたNPT再検討会議とは。NPT再検討会議のあゆみと核軍縮。

●核兵器禁止条約について

2017年7月7日国連の決議、2021年1月21日の発効、そして第1回から第3回までの核兵器禁止条約締約国会議のあゆみ。

●ドンが聞こえなかった人々 被爆ろうあ者の写真パネル展

あの日長崎に原爆が落とされた

深い沈黙のときをこえ

いまはじめて語られる真実



●広島の高校生が描いた「原爆の絵」

●戦時中の物品 ●原爆と人間パネル

●大宮の核施設撤去の市民運動の歴史

イベント(研修室) 定員48名 (入場は30分前から)

席に限りがありますのでギリギリの時間では入れないこともあります。

8/3(月)

★ フレ企画 ★ 13時15分開場 13時半上映

アニメ「はだしのゲン」(1983年)

アニメ「はだしのゲン2」(1986年)

原作・脚本・製作者:中沢啓治 監督:真崎守(84分)

戦争の嵐の中、広島市の国民学校2年の岡田ゲンは家族で励ましあって生きていたが、原爆が広島に落ちる。 90分/小学生向

原作・中沢啓治 脚本・高屋敷英夫 監督・平田敏夫(86分)

戦後4年生になったゲン。厳しい生活の中で紡がれる親子の絆と友情。 90分/小学生向

8/4(火)

3回公演します(①11時 ②13時半 ③15時) 15分前から入れます。

人形劇グループ
さくらんぼの会

紙芝居と読み聞かせ(2~3作品)

人形劇「のぼら」 小川未明作



国を異にし、年齢を異にし、階級も異にするふたりの兵士、野ばらの花咲く国境で結ばれた友情を引き裂いたものは...

8/5(水)

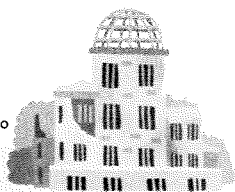
● 9時半開場 10時開演

被爆体験を語る

お話・佐伯 博行さん

(埼玉県原爆被害者協議会事務局長)

2歳の夏、広島市の爆心地から
2.3kmの距離で被爆された
佐伯博行さんのお話を伺います。



8/9(日)

● 13時半 開場 14時 開演

構成・演出:滝沢口コ 音響 OP:安田カオル

出演:滝沢口コ、小田原美保、浅利倫映、吹田真実、比留間由佳

愛と平和を語り継ぐ心にふれるお話 -口コ企画語り-

「多くの大切な命を失って二度と繰り返してはならないと約束した平和憲法 今こそ大声で世界の平和を叫びたい」

作・長田真作「赤い日ーじいちゃんの見た戦争」(汐文社)

文・山口美代子 「あの日のこと」(今人舎)

